成績概要書(2007年1月作成)

1.課題の分類		分類番号		整理番号	
2.場所名	北海道立花・野菜技術も	ンター、北流	每道立道南周	農業試験場	
3.系統名	いちご「道南29号」	(いちご新	品種育成)		

4.育成経過

「道南 29 号」は、「エッチエス-138」と同等以上の果実品質を有し、高設・夏秋どり栽培において障害果の発生が少なく多収な品種の育成を目標とし、平成 13 年に道南農試において「7 交 15-57」を種子親に「エッチエス-138」を花粉親として交配し、栄養系選抜法により育成した系統である。

5 . 特性の概要(標準品種:「エッチエス-138」)

1)形態的特性

収穫始期の草丈はやや低く、葉数および芽数はやや少ない(表 1)。草姿は中間性である。草勢は高設栽培ではやや強いが、土耕栽培では「エッチエス-138」と同等である。 果房当たり果数はやや少ない。

2)生態的特性

四季成り性を有する。収穫始期からみた早晩性は、ほぼ同等である(表 1)。高設栽培における上物収量は「エッチエス-138」より多いが、土耕栽培ではほぼ同等である(表 2)。高設栽培における種子浮き果の発生率は「エッチエス-138」より低い。うどんこ病抵抗性は「エッチエス-138」よりやや弱く、特に成り疲れ症状を呈すると病果の発生が多くなる(表 1)。灰色かび病果の発生程度は同程度である。萎黄病に対する抵抗性は弱く、萎凋病には同程度、疫病にはやや強い(表 7)。もみがら採苗における種苗増殖性では「エッチエス-138」より優れる(表 4)。

3)果実品質

果形はやや長円錐形である(表 3、図 1)。果皮色は鮮赤色で、光沢は「エッチエス-138」と同等である。果肉色は「エッチエス-138」よりやや淡く、「白~鮮紅色」である。糖度は「エッチエス-138」よりやや低いが、酸度は低く糖酸比がやや高いため食味はやや良い。果実は中心空洞が「エッチエス-138」よりやや大きいものの硬さに優れ、日持ち性は供試した品種の中で最も優れており、業務用に適する。

4)果実の実需者評価

仲卸、札幌・函館洋菓子協会および大手製パン会社による評価では「エッチエス-138」と比べて「同等~やや優る」であった(表5)。

7.普及対象地域および普及見込み面積

普及対象地域:全道一円 普及見込み面積:10ha

8.保有種苗量

ポット苗: 623 株、茎頂培養苗(in vitro): 47 個体(2007 年 1 月 4 日現在)

- 9.栽培上の留意点
 - 1)ハウス雨よけ夏秋どり作型に適応する。
 - 2)高設栽培向け品種であるが、土耕栽培でも利用可能である。但し、萎黄病に対する抵抗性が劣るので、耕種的防除や土壌消毒に努める。
 - 3)着果数が多く着果負担による成り疲れを生じやすい。特に秋期の成り疲れによる草勢低下はうどんこ病果の発生を助長するので、「エッチエス-138」に準じて芽数および果房数調整作業を適切に行う。
 - 4)育成地の通常栽培における液肥 ($N-P_2O_5-K_2O=15-8-16$ 、各%相当)の EC 値は「エッチエス-138」の慣行に合わせて 0.4mS/cm 程度であったが、「きみのひとみ」に準じて EC 値を 0.8mS/cm にすることでさらに収量および品質の向上が期待できる。但し、給排液のモニタリングを行い、適正に管理する。

6.試験成績概要

表1 . 育成地(道南農試)における生育特性

代・日か で(た		,									
•	収穫始	<u>期</u> 収	镬始期		高設栽培)_	収穫期		高設栽培にお	ける果房調査	病果	壑(%)
品種系統名	高設 土	:耕 草	丈 葉数	女 芽数	草姿	高設	土耕	果房当たり	収穫始期	(対果	重比)
	(月.日) (月	.日) (c r	n)					果数	の果房数	うどんこ病	灰色かび病
道南29号	7.17 7.	14 20	0.9 16	0 1.6	中間性	やや強	中	14.1	4.2	1.4	1.2
エッチエス-138	7.16 7.	16 22	2.2 19	7 2.2	やや開張性	(中)	(中)	17.3	5.0	0.8	1.4
カレイニャ	7.17 7.	15 28	3.1 17	6 2.2	やや立性	やや強	やや強	15.8	4.0	0.4	0.7
ペチカ	7.19 7.	16 26	6.0 16	1 2.2	やや立性	やや強	やや強	12.8	4.1	0.1	0.5
きみのひとみ	7.18 7.	16 23	3.6 14	7 1.9	やや立性	中	中	8.3	3.7	0.1	2.0
エラン	-	- 30).5 23	9 3.0	やや立性	強	強	10.5	5.3	0.2	1.0

注)生育の値は平成16~18年の平均値。但し、果房当たり果数は平成16年7月27日調査。

高設栽培における給液希釈倍率は3000倍(EC値で0.4mS/cm)とした。但し、花房養成期のみ2500倍とした。

表2 . 育成地(道南農試、花・野菜セ)における収量性

						高設栽培										#栽培		
			道南農	試					花·悝	予菜セ					道南	農試		
品種系統名	上物	12量	同左	上物	上物	種子浮	上物	収量	同左	上物	上物	種子浮	上物	収量	同左	上物	上物	種子浮
	果数	重量	重量比	一果	果率	き果率	果数	重量	重量比	二果	果率	き果率	果数	重量	重量比	二果	果率	き果率
	(千個/a)	(kg/a)	(%)	重(g)	(%)	(%)	(千個/a)	(kg/a)	(%)	重(g)	(%)	(%)	(千個/a)	(kg/a)	(%)	重(g)	(%)	(%)
道南29号	19.5	206	115	10.7	54.2	7.1	15.3	165	211	10.7	49.7	8.4	25.7	290	104	11.4	50.5	2.0
エッチエス-138	17.7	179	100	10.1	48.0	10.1	7.4	78	100	10.3	38.7	15.2	26.7	277	100	10.3	48.2	3.5
カレイニャ	13.6	146	83	10.8	46.0	8.8	7.7	84	108	10.9	37.4	13.1	18.7	199	72	10.7	48.6	4.7
ペチカ	12.9	144	80	11.2	45.1	12.2	6.3	62	84	10.9	41.2	9.9	17.6	200	72	11.3	48.7	4.6
きみのひとみ	18.6	208	116	11.4	57.2	7.0	11.1	118	160	11.2	56.0	5.4	20.2	232	84	11.4	55.6	1.9
エラン	8.6	92	44	10.3	23.4	33.3	4.3	41	55	10.1	22.2	29.1	14.4	145	55	10.0	32.9	27.4

注) 道南農試は平成16~18年、花·野菜セは平成17~18年の平均。

表3 . 育成地(道南農試)における果実品質

					高設栽培における						果実	硬度
品種系統名	果形	果皮色	果肉色	光沢	糖度	酸度	糖酸比	食味	空洞	性	(g/	3mm)_
					(Brix,%)	(%)				(日)	果皮	果肉
道南29号	やや長円錐	鮮赤	白~鮮紅	3.8	8.9	0.75	12.9	3.5	0.7	7.5	156	156
エッチエス-138	円錐	鮮赤	白~鮮赤	3.7	9.1	0.80	12.1	2.9	0.3	6.1	152	147
カレイニャ	円錐	鮮赤	白~鮮紅	3.0	9.7	0.64	17.1	3.7	0.3	6.0	123	106
ペチカ	やや長円錐	鮮赤	白~鮮赤	2.3	9.8	0.60	17.5	3.6	0.3	5.8	123	100
きみのひとみ	やや短円錐	鮮紅	白~鮮紅	2.3	9.3	0.77	17.8	3.7	0.7	4.4	97	91
エラン	卵円錐	鮮赤	鮮赤	2.5	9.4	0.71	15.6	2.9	2.0	4.8	124	-

注) 平成16~18年の平均値。

光沢および食味は収穫期間中に4~5回にわたり5段階で評価し、その平均値を示した。

指数: (光沢、食味) = (良~不良) = (5~不)。字(3)= (大~無) = (4~0)。 日持ち性は 平成16~18年にわたり9月に室温で評価。業務用に利用可能な状態であった日数を平均して示した。

表4.もみがら採苗における種苗の増殖性(平成17年)

品種系統名	子苗	子苗数(親株1株当たり)							
	大	中	小	合計					
道南29号	24.3	48.8	5.4	78.5					
エッチエス-138	23.3	12.4	1.0	36.7					

注) 大:5葉以上、中:3~4葉、小:2葉以下。 定植日:4月4日、採苗日:10月25日。

表5.実需者による「道南29号」の評価(平成18年)

実需者名	調査月日	総合評価	「(回答者数)
仲卸業者A	8月31日	4.0	(1)
仲卸業者A	10月19日	4.0	(2)
大手製パン会社	10月24日	3.0	(1)
札幌洋菓子協会	10月18日	4.0	(14)
函館洋菓子協会	8月27日	4.3	(3)
函館洋菓子協会	10月26日	2.9	(7)
平均		3.7	

注) 総合評価: 5(優れる)~3(エッチエス-138並)~1(劣る)。

表7.接種検定結果(平成18年)

品種系統名	発病度					
	萎黄病	萎凋病	疫病			
道南29号	88.8	92.5	15.3			
IッチIス-138	65.0	82.5	26.4			
きたえくぼ	70.0	96.3	-			

注) 発病度 = 発病指数×100/(4×供試個体数)。

また、地域流の地域を学科を地における気体

表6.地域	適心性検正	試験地にす	らける計	<u> </u>	
栽培 年次	、場所	収量性 食	[味 夕	小観	総合評価
様式					(標準対比)
H17	比布町				-
	余市町				
	花·野菜セ				
高設	道南農試				
H18	比布町				
	花・野菜セ				
	道南農試				
H17	豊浦町	~	~	~	~
	北見市				
土耕	道南農試				
H18	豊浦町				~
	道南農試		~	~	
注 //百	わ フ\ (-	ヒッチェフ	420 Ht)		シ フヽ

注) (優れる)~ (エッチエス-138並)~×(劣る)。

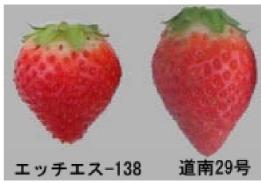


図1.「道南29号」の果実外観